

2018 年度

東京学芸大学 留学生センター

年 報

はじめに

このたび平成 30 年度の留学生センター年報をまとめましたのでお届けします。

本年度、本学は 243 名（平成 30 年 10 月 1 日現在）の留学生を迎えています。そのうち教員研修留学生が 21 名、日本語・日本文化研修留学生が 11 名、協定校からの交換留学生が 81 名になります。この数は昨年とほぼ同じですが、留学生総数がピークであった平成 16 年（526 名）と比較すると半数以下であり、平成 26 年度 10 月の留学生総数 299 名以来、毎年数を減らしてきています。平成 31 年度に大学院が改組され、教職大学院が大幅に拡充されることにより留学生の数はさらに減少することは必至であり、今後の留学生確保は留学生センターだけでなく、大学全体が取り組んでゆかねばならない課題であるといえます。

今年度は留学生向けの授業として、習熟度に応じた日本語科目をはじめ、日本理解科目、さらには本学学生がともに学ぶ多文化共修科目を開講したほか、ISEP 科目（英語で授業を行なう科目）も「教育」に関する科目を増やして一層充実させ、多くの受講生を集めました。さらには、附属学校や公立学校との交流事業にも積極的に取り組みました。これは本学ならではの貴重な教育の現場体験になるほか、初等・中等教育の現場で外国人との交流を推進することにつながると考え、本センターの重要な責務として実施したものです。このほか、留学生が身近に日本文化を体験するための企画を立て、大相撲見学、学芸カフェテリアランチ講座、国際交流合宿、講演会・ワークショップ、和菓子ワークショップなどの見学・交流事業も行いました。

一方、本年度は本センターが 1998 年に設置されてから 20 周年にあたることから、『留学生センター 20 年の歩み』と題する記念誌を編集・発行しました。これは、これまで歩んできた歴史と、取り組んできた多くの事業を振り返りつつ、今後に向けた展望をまとめたものになります。編集作業を通して多くの留学生に対してなされてきた手厚い教育と支援の数々を見渡すとともに、本センターのあり方について考える機会になりました。この 20 年間に大学を取り巻く環境は大きく変わり、また日本に向けられる世界からのまなざしも変転を遂げつつあるなかで、教員一同、これまでの蓄積を糧にしてこれからの 10 年、20 年へとつないでいく気持ちを新たにしました。

留学生センターでは専任教員 4 名と特任教員 2 名が業務に取り組んでおりますが、他に 6 名の兼任教員をはじめ、実際の授業や研究指導、さらには生活支援には多くの先生方、学生諸君、さらには地域の皆様から留学生支援について多大なご協力をいただきました。この場を借りて厚くお礼を申し上げます。留学生の多くは日本にきわめて強い関心を持ち、熱心に日本理解に努めています。今後は日本からの派遣留学生をさらに増やしてゆくことも求められており、そのためにも彼らとの交流を通して、本学学生にとっても、また留学生にとってもより豊かな国際的環境づくりが必要だと感じております。今後ともご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

留学生センター長
加賀美 雅弘

目次

はじめに

1. 全学留学生対象の事業	4
1.1 日本語科目の構成	
1.2 日本語1～5：開講枠数およびプレースメントテスト受験者数	
1.3 日本語1～5：レベル別開講科目および枠数（春学期）	
1.4 日本語1～5：レベル別開講科目および枠数（秋学期）	
1.5 「日本語集中コース（日本語5）」	5
1.6 日本理解科目開講枠数	
1.7 留学生による授業評価	
1.8 研究・生活支援事業および見学・交流事業	6
2. 国費研究留学生および教員研修留学生対象の事業	8
2.1 2017年度入学教員研修留学生および研究発題目	
2.2 2017年度入学教員研修留学生 主な行事	
2.3 2018年度入学教員研修留学生	
2.4 2018年度入学教員研修留学生 主な行事	9
3. 日本語日本文化研修プログラム留学生（日研生）対象の事業	10
3.1 2017年度10月入学日研生および修了レポート題目	
3.2 2017年度10月入学日研生 主な行事	11
3.3 2018年度10月入学日研生	
3.4 2018年度10月入学日研生 主な行事	
4. 短期留学プログラム（短プロ/ISEP）留学生対象の事業	12
4.1 2017年度10月入学短プロ/ISEP生および個人研究題目	
4.2 2018年度10月入学短プロ/ISEP生	
5. その他の活動	14
6. 教員の教育・研究活動	15
資料1 日本語科目一覧	23
資料2 日本理解科目一覧	27

資料3	短期留学プログラム科目一覧	28
資料4	主な行事の写真	29
資料5	日本語日本文化研修・ISEP・教員研修各プログラム概要	30

1.全学留学生対象の事業

1.1 日本語科目の構成

	授業形態	必修・選択の別	クラスの決定方法
日本語 1	一般 1科目当り 週 2 時間	選択	全学日本語プレースメントテストならびに Can-do statements 調査による
日本語 2			
日本語 3			
日本語 4			
日本語 5	集中 週 20 時間	国費研究留学生・教員研修留学生で日本語能力の低い者は必修	学習歴調査による

1.2 日本語 1～5：開講枠数およびプレースメントテスト受験者数

	春学期	秋学期	計
開講枠数	51 (枠)	53 (枠)	104 (枠)
プレースメントテスト受験者数	135 (人)	141 (人)	276 (人)

1.3 日本語 1～4・5：レベル別開講科目（春学期）

	総合	作文	講読	会話	漢字	聴解	文法	特別演習	プロジェクト	計
日本語 1	1	1*	1	0*	1	1	1	3*	1	10
日本語 2	1	2	2	2	1	1	2	2		13
日本語 3	2	1	1	1	1	1	1	1	-	9
日本語 4	4	1	1	1	1	-	-	-	-	8
日本語 5	4	1	1	1	2	1		1	-	11

*これ以外に国語科教室で開設している学部の日本語科目が各 1 枠ある。

1.4 日本語 1～4・5：レベル別開講科目（秋学期）

	総合	作文	講読	会話	漢字	聴解	文法	特別演習	プロジェクト	計
日本語 1	1	1*	2	1**	1	1	1	2	-	10
日本語 2	1	2	2	2	1	1	2	3		14
日本語 3	2	2	1	1	1	1	1	1	-	10
日本語 4	4	1	1	1	1	-	-	-	-	8
日本語 5	4	1	1	1	2	1		1	-	11

*これ以外に国語科教室で開設している学部の日本語科目が 1 枠ある。

**これ以外に国語科教室で開設している学部の日本語科目が 2 枠ある。

1.5 日本語集中コース（日本語5）

	学期	開講枠数（科目別内訳）	受講者数（身分別内訳）
日本語5	春	11 枠/週 (総合4・文字2・会話1・ 聴解1・作文1・講読1・特別演習1)	1 名 (研究生)
	秋	11 枠/週 (総合4・文字2・会話1・ 聴解1・作文1・講読1・特別演習1)	5 名 (教員研修生4 ISEP生1)

1.6 日本理解科目開講枠数

	春学期	秋学期	計
多文化共修科目 (留学生センター&学部開設)	2	2	4 (枠)
日本理解 (留学生センター開講)	4	4	8 (枠)

1.7 留学生による授業評価

春学期全体集計結果		問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13	問14	問15	問16
回答総数	平均	4.73	4.66	4.53	4.62	4.78	4.67	4.68	4.74	4.75	4.60	3.06
495	標準偏差	0.63	0.74	0.87	0.76	0.55	0.72	0.69	0.60	0.61	0.83	0.63

秋学期全体集計結果		問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13	問14	問15	問16
回答総数	平均	4.80	4.71	4.57	4.69	4.87	4.76	4.77	4.81	4.80	4.68	3.08
461	標準偏差	0.50	0.59	0.72	0.61	0.38	0.54	0.49	0.49	0.53	0.63	0.70

[アンケート項目]

問6. 授業科目名や目標にあった授業内容だった。	[5 4 3 2 1]
問7. 授業内容がよく理解できた。	[5 4 3 2 1]
問8. 興味を持って受講できた。	[5 4 3 2 1]
問9. 新しい知識・能力・技能が身についた。	[5 4 3 2 1]
問10. 教員は熱心だった。	[5 4 3 2 1]
問11. 教員の指示はわかりやすかった。	[5 4 3 2 1]
問12. 教員の説明は適切だった。	[5 4 3 2 1]
問13. 教員は質問にわかりやすく答えてくれた。	[5 4 3 2 1]
問14. 教員の話し方は聞き取りやすかった。	[5 4 3 2 1]
問15. 教材は適切だった。	[5 4 3 2 1]
問16. (日本語のクラスについて聞きます。) あなたにとってこのクラスは、 [5:むずかしすぎた 4:むずかしかった 3:ちょうどよかった 2:やさしかった 1:やさしすぎた]	

1.8 研究・生活支援事業および見学・交流事業

事業内容	実施日	参加者数（延数）
研究・生活支援事業		
新入学生オリエンテーション	4月5日	52名
	10月4日	97名
新入生ウェルカムパーティ [共催：生協]	4月5日	65名
	10月4日	50名
防災体験学習（池袋防災館）	10月31日	29名
にほんごカフェ	春学期：毎週火4限、水4限、木4他（計34回） 秋学期：毎週月4限、水4限、木4限、木4限（計35回）	一般学生47名、留学生66名 一般学生46名、留学生68名
オフィスアワーによる相談時間	週6回	日直教員で対応
見学・交流事業（附属学校及び公立学校との交流）		
附属竹早小学校での交流授業	12月12日	27名（教研生13名、ISEP生14名）
附属小金井小学校での交流授業	12月12日、2月6日	11名（日研生）
附属世田谷小学校での公開研究授業	2月1日	6名（教研生4名、ISEP生1名、一般交換留学生1名）
東京都立桜修館中等教育学校	11月21日	6名（教研生、国費研究生、大学院生）
東京都立国際高等学校	1月12日	8名（教研生、日研生、一般交換留学生）
東京都立淵江高等学校	2月18日	11名（日研生）
見学・交流事業（その他の見学・交流事業）		
春のお散歩（お鷹の道～真姿の池～国分寺跡）	4月25日（水）4限	一般学生3名、留学生7名
国際交流合宿（山梨県清里高原） 滝沢牧場、交流会、吐竜の滝ほか 宿泊：小金井市立清里山荘	5月26日～27日	36名（一般学生10、留学生24）、 引率教員2名
セミナー「Navigating through Multiple Cultures as “Third Culture Person”: an experiential sharing（多文化を超えて生きる～私の経験から～）」（講師：Dr. Jae Park 香港教育大学，本学教員養成カリキュラム開発研究センター客員准教授）	5月23日	50名（留学生25名、教職員17名、その他2名）
講演会「日本文化の中の忍者-現代社会に生かす忍者の心-」（講師：甚川浩志）	6月27日	20名（日研生、一般交換留学生）
歌舞伎鑑賞教室	6月13日	18名（教研生15名・国費研究生5）

講演会「ロヒンギャ難民の今」(在日ビルマロヒンギャ協会：長谷川健一、長谷川留理華、アウンティン)	11月28日	30名
相撲博物館・大相撲トーナメント見学(国技館)	2月10日	30名
和菓子ワークショップ(和菓子作りデモンストレーションと体験)	1月16日	56名
国際交流カフェ(春)、留学生カフェ(秋)(学芸カフェテリアランチ講座)	春学期毎週木曜日昼休み(計11回)[7/7七夕パーティ21名参加] 秋学期毎週木曜日昼休み(計11回)[1/11もちパーティ22名参加]	一般学生91名、留学生66名 一般学生55名、留学生54名
海外の学校教育事情 Education and Culture Abroad(学芸カフェテリアランチ講座)	春学期毎週1回(計8回)	<協力者>教研生8名 一般学生延べ30名、留学生延べ10名

2. 国費研究留学生および教員研修留学生（教研生）対象の事業

2.1 2017 年度入学教員研修留学生および研究発表題目

氏名	国籍	指導教員
個人研究題目		
LEE, KYUNG JOO	大韓民国	平田昭雄
学習動機による日韓小学校理科教科書「電気」単元の構成比較		
OZO, OBINNA DARLINGTON	ナイジェリア	中西史
Establishment Of Cell Observation System Using Microscopes Made With Smartphones And Pet Bottles For Nigerian Students		
NORMAN, FREDRIK KARL	スウェーデン	渋谷英章
Comparison of Japanese and Swedish high school teachers cultures: collaboration, skill improvement and peer-learning		
HESTI SUARTI	インドネシア	白倉美里
A Comparative Study On The Japanese English Curriculum and The Indonesian English Curriculum		
KHODJAEVA, DILAFRUZ	ウズベキスタン	白倉美里
Intercultural Communicative Competence and Foreign Language Teaching		
XUE, PENG	中国	坂口謙一
The Historical Process, Basic System, Trend and Experience of Modern Vocational and Technical Education in Japan		
ESTEPA, LEAH GRACE BERNADETTE CHIONG	フィリピン	末松裕基
A Study of School Management in Japan: From School Goal to Classroom Success		
INNAUNG, TADCHA	タイ	谷部弘子
タイの中等教育段階における「アクティブ・ラーニング」を目指した日本語語彙学習の方法		

(計 8 名)

* 『2017.10～2019.3 教員研修留学生研修プログラム最終報告書』として刊行予定

2.2 2017 年度入学教員研修留学生 主な行事

- 4 月 5 日 オリエンテーション II
- 6 月 13 日 歌舞伎鑑賞教室
- 10 月 3 日 オリエンテーション III
- 2 月 27 日 教員研修留学プログラム研究成果報告会・修了式

2.3 2018 年度入学教員研修留学生 (13 名)

氏 名	国 籍	指導教員	予備教育受入
Dickrillah Diasi Nuril Indah	インドネシア	高橋 純	2018 秋学期
Pilakun, Ratchaphong	タイ	櫻井真治	2018 秋学期
Lee Jiyoungi	大韓民国	細川大輔	
Park, Inyong	大韓民国	粕谷恭子	
Park, Chanhae	大韓民国	阿部始子	
Kim, Youngun	大韓民国	松尾直博	
Kim. Jina	大韓民国	白倉美里	
Choi, Sujin	大韓民国	高山茂樹	
Sentana, Gonzalo Alfred	アルゼンチン	中島裕昭	2018 秋学期
Anglade, Pablo Rafael	アルゼンチン	有澤知乃	2018 秋学期
Sandor, Jasmina	クロアチア	戸田孝子	2018 秋学期
Ndlovu, Moreblessing	ジンバブエ	前原健二	2018 秋学期
David, Dorcas Ufwai	ナイジェリア	鎌田正裕	2018 秋学期

2.4 2018 年度入学教員研修留学生 主な行事

10 月 3 日	オリエンテーション
10 月 31 日	立川防災館
12 月 12 日	附属竹早小学校訪問
1 月 16 日	和菓子ワークショップ
2 月 10 日	大相撲トーナメント見学

3. 日本語日本文化研修プログラム留学生（日研生）対象の事業

3.1 2017年度10月入学日研生および修了レポート題目

氏名	国籍・所属大学	指導教員
修了レポート題目		
グエン ジェウ ホア	ベトナム・ハノイ大学	岡 智之
日本人の音楽作品鑑賞・購入習慣とCD不況の現状・原因との関係		
シェフチーコバー バルボラ	チェコ・パラツキー大学	斎藤 純男 伊能 裕晃
無縁社会における大学生の友人関係		
リャホヴシカ ヤーナ	ウクライナ・キエフ国立大学	谷部 弘子
日本の現代演劇に反映している社会問題		
ラッサミー モンナット	タイ・タマサート大学	小西 円
日本人大学生のニックネームの使い方と呼ばれたときの感じ方		
シャチコワ アンナ	ウクライナ・キエフ国立大学	有澤 知乃
2.5次元という日本の現代演劇の現象		
キョセ ブルジュ	トルコ・チャナッカレオンセキズマルト大学	許 夏玲
俗信の一つである禁忌から見る日本の文化		
アイガル アンドリュー ジェイムズ	アメリカ合衆国・カーセージ大学	小西 円
日本人のキリスト教信仰の有無が生きがいとどう関係するか		
ブイ グエン トウック アイン	ベトナム・ハノイ国家大学外国語大学	許 夏玲
食生活における栄養バランスに対する日本人若者の意識		
ワンナコート ナッチャー	タイ・コンケン大学	斎藤 純男 伊能 裕晃
日本におけるパクチャー料理ブーム		
ベリマン ベンヤミン フリツ ハリ	スウェーデン・ヨテボリ大学	岡 智之
若年層における「やばい」と「すごい」の用法ー男女と地域の比較ー		
ノタロ マリア ルイーザ ジュセピーナ	ドイツ・ハイデルベルク大学	有澤 知乃
アニメと現実の日本社会との比較ー恋愛における三角関係ー		

(計 11 名)

* 『2017.10～2018.8 日本語日本文化研修留学生 研修レポート集』として刊行

3.2 2017年度10月入学日研生 主な行事

4月 12日	春学期授業開始
4月 25日	[セミナー] 図書館の活用と情報検索 (大学図書館)
5月 9日	谷保天満宮と農園見学
5月 30日	[セミナー] 多文化を超えて生きる -私の経験から-
6月 13日	歌舞伎鑑賞教室
7月 12日	[セミナー] 日本文化の中の忍者 -現代社会に生かす忍者の心-
7月 31日	春学期授業終了
8月 1日	研究発表会・修了式

3.3 2018年度10月入学日研生

氏名	国籍・所属大学	指導教員
シーシワセート ウッタニット	タイ・チュラロンコン大学	小西 円
カルヴァーリョ クレマスキ バウムエル タリス	ブラジル連邦共和国・サンパウロ大学	谷部 弘子
エルデーシュ ベロニカ	ハンガリー・カーロリ ガシュパール カルヴァン派大学	谷部 弘子
ダーデヴィル ギョクハン	トルコ・チャナッカレ オンセキズ マルト大学	伊能 裕晃
アイドードウ ニルギュン	トルコ・チャナッカレ オンセキズ マルト大学	小西 円
ゴート ミランダ ジャズリン	アメリカ合衆国・カーセージ大学	有澤 知乃
ポーカパニットウォン チャックリット	タイ・シラパコーン大学	許 夏玲
マイヤキット タンヤトーン	タイ・コンケン大学	許 夏玲
オルソン ユリア マリア	スウェーデン・ヨテボリ大学	岡 智之
ヴィニチャイクル アドリアーナ	ドイツ・ハイデルベルク大学	有澤 知乃
ドアミ メロ アンジェラ アユミ	ブラジル連邦共和国・パラナ連邦大学	岡 智之

(計 11 名)

3.4 2018年度10月入学日研生 主な行事

10月 9日	日研生オリエンテーション
10月 31日	池袋防災館にて体験学習
11月 14日	サントリー武蔵野ブルワリー工場見学
11月 21日	江戸東京たてももの園見学
11月 28日	[セミナー] ロヒンギャ難民の今
12月 12日	附属小金井小学校との交流授業 (第1回)
1月 6日	和菓子ワークショップ
2月 6日	附属小金井小学校との交流授業 (第2回)

4. 留学生教育プログラム (ISEP) 留学生対象の事業

4.1 2017 年度 10 月入学 ISEP 生および個人研究題目

	氏名	所属大学	Individual Study (個人研究)	指導教員
1	Geng Tianyi (耿 天怡)	Shanghai Normal University (上海師範大学)	Background, Methods and Achievements of Japan Anime on Trans-Cultural Diffusion	臼倉 美里
2	Cheung Ka Yee (張 嘉儀)	The Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	Romance in Japan: Love Styles and Attitudes towards Romantic Relationships among Japanese University Women in Tokyo	山口 恵子
3	Lo Cheuk Hin (盧 焯軒)	The Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	Can Living in Dormitories Help Exchange Students Better Integrate into Life in Japan?	有澤 知乃
4	Yang Ya-ting (楊 雅婷)	National Taichung University of Education (国立台中教育大学)	Traditional Companies in Japan	松川 誠一
5	Liu Yu-ning (劉 又寧)	National Taiwan University (国立台湾大学)	The Difficulties that UNIQLO JAPAN Has Faced in Recent Years	浅野 智彦
6	Shueh Ta-Wen (薛 達雯)	National Taiwan University (国立台湾大学)	Female Undergraduates' Fertility Will: Among Japan and Taiwan	浅野 智彦
7	Im Yerin (林 睿璘)	Korea National University of Education (韓国教育大学校)	Contemplation of English Education in Japan and Korea	阿部 始子
8	Natcha Tarateeraparp	Thammasat University (タマサート大学)	Mental State of Japanese University Students	齋木郁乃
9	Lei Yuan (雷 源源)	Eastern Michigan University (イースタンミシガン大学)	Comparing Politeness between People from Kanto Region and Kansai Region: A Study on Japanese Speech Patterns and Formality	小西 円
10	Emma Hill Hartman	Ball State University ボールステイト大学)	Japanese Public Baths Are Declining; Is There Hope for Resurgence?	椿 真智子
11	Trent Torao Terada	University of Hawaii at Hilo (ハワイ大学ヒロ校)	Finding the Cultural Differences in Food: A Study in International Differences within McDonalds	杉森 伸吉
12	Kaimana Banagan-Brock	University of Hawaii at Hilo (ハワイ大学ヒロ校)	Tattoos in Japan	小西 広大
13	Karolina Janosik	Jagiellonian University (ヤギェウオ大学)	Promotion of Japanese Culture Abroad: Japan's Soft Power	川手 圭一
14	Pawel Wiktor Wozniak	Jagiellonian University (ヤギェウオ大学)	Polish Japanese Economic Relations	川手 圭一
15	Biljana Mileusnic	Ruprecht-Karls-Universitat Heidelberg (ハイデルベルグ大学)	Shokuiku: Food Education in Japanese Schools	南道子
16	Katharina Schmeichel	Trier University (トリア大学)	Gender Specific Language among Young Japanese Today	斎藤 純男 伊能 裕晃
17	Ronja Von Kowalkowski	Trier University (トリア大学)	The LGBT Community in Japan	苫米地 伸

* 『ISEP Individual Study 東京学芸大学短期留学プログラム個人研究レポート集 Autumn 2017-Spring 2018』として刊行

4.2 2018 年度 10 月入学 ISEP 生

	氏名	所属大学	指導教員
1	WEI Yiling (魏 怡灵)	Shanghai Normal University (上海師範大学)	臼倉 美里
2	WU Qingqing (吴 青青)	Shanghai Normal University (上海師範大学)	阿部 始子
3	WANG Bing (王 冰)	Nanjing Normal University (南京師範大学)	千田 洋幸
4	LIU Hao (劉 昊)	Nanjing Normal University (南京師範大学)	范 文玲
5	WONG Wing Yan (黄 詠恩)	The Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	浅野 智彦
6	CHUNG Pik Ni (鐘 璧彌)	The Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	高尾 隆
7	CHU Yu Taib (朱 宇泰)	The Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	山口 恵子
8	CHEN Yi-fan (陳 怡帆)	National Taiwan University (台湾大学)	青山 司
9	TOWSI Thanapong	Silpakorn University (シラパコーン大学)	白勢 彩子
10	NEAL Melissa Allison	University of Hawaii at Hilo (ハワイ大学ヒロ校)	有澤 知乃
11	HERTAUS Kayne William	Ball State University (ボールステイト大学)	大澤 千恵子
12	CICEK Murat Can	Heidelberg University (ハイデルベルク大学)	小林 春夫
13	PLUYM Tifearah	Paris Diderot University (パリ・デイドロ[第7]大学)	松尾 直博
14	GAUTRE Julie Valentine	Paris Diderot University (パリ・デイドロ[第7]大学)	朝倉 隆司

5. その他の活動

- Facebook : Tokyo Gakugei University Alumni Network of International Students のページを引き続き運営し、周知に努めた。
- 国立大学法人留学生指導研究協議会に参加した（大阪大学[2月3日]）。
- 小金井市主催の外国人スピーチコンテストへの後援と協力を行った（7月7日）。
- 刊行物
 - (1) 『留学生センター20年の歩み』 [留学生センター20周年記念誌]
 - (2) 『2017年度 東京学芸大学留学生センター年報』
 - (3) 『2017.10-2019.3 教員研修留学生研修プログラム最終報告書』
 - (3) 『2016.10-2017.8 日本語日本文化研修留学生修了レポート集』
 - (4) 『ISEP Individual Study 東京学芸大学短期留学プログラム個人研究レポート集 Autumn 2017-Spring 2018』

6. 教員の教育・研究活動

■有澤 知乃

【所属部門】 日本理解教育部門

【研究分野】 民族音楽学, 日本研究

【教育活動】

留学生センター開設科目

(春学期) 「Traditional Performing Arts of Japan」 「ISEP Seminar (II)」 「日本理解C」

(秋学期) 「Introduction to Japanese Music」 「ISEP Seminar (I)」

学部・センター同時開設科目

(春学期) 「Exploring the Cultural Diversity of Japan (I)」

(秋学期) 「Exploring the Cultural Diversity of Japan (II)」

「多文化共修科目 D (世界の民族と文化)」

大学院開設科目

(春学期) 「地域研究教育内容基礎研究法 (民族音楽学)」

【その他の活動】

①学内

1. 国際戦略推進本部委員
2. 国際戦略推進本部留学プログラム実施部会委員
3. 国際戦略推進本部外国人留学生の受入れとグローバル人材の養成プロジェクト実施部会 (ISSUP)委員
4. 組織再編特別委員会委員
5. 各学系紀要編集部会委員
6. ミシガン州立大学生短期研修受入れプログラム企画運営引率 (2018.6.25-29) ISSUP 事業
7. ミシガン州立大学短期留学プログラム企画運営引率 (2018.10.5-15)
「米国大学生との協働体験記から学ぶグローバル時代の教育」 ISSP 事業

②学外

1. 科学研究費補助金 基盤 (C) 「多様化する中華学校における音楽教育の民族音楽学的研究」 (研究代表者)

【所属学会】

International Council for Traditional Music, European Association for Japanese Studies

東洋音楽学会, 日本音楽学会

■伊能 裕晃

【所属部門】 日本語教育部門

【研究分野】 日本語教育学, 文章・談話論

【教育活動】

①著書

1. 伊能裕晃, 本田ゆかり, 来栖里美, 前坊香菜子 (2018) 『新完全マスター語彙 日本語能力試験N3 ベトナム語版』スリーエーネットワーク

①記事

1. 伊能裕晃 (2018) 「コースデザインひとくちメモ 『新完全マスター語彙 日本語能力試験』を使った語彙指導の工夫 -N3レベルの授業を例に-」スリーエーネットワーク 日本語・外国語図書目録2018, スリーエーネットワーク, pp. 141-142

②授業

留学生センター開設科目

(春学期) 「日本語2文法A1」, 「日本語3漢字A」, 「国研生演習A2」

(秋学期) 「日本語3総合B1」, 「日本語3総合B2」, 「日本語3漢字B」

学部開設科目

(春学期) 「多文化共修科目C (世界の言語と文化)」

【その他の活動】

①学外

1. 東海日本語ネットワーク, 名古屋国際センター共催「日本語ボランティア研修 ～開かれた地域社会をめざして～ お話を聞く会 第九回」(名古屋国際センター 2018. 4. 10)
2. スリーエーネットワーク主催セミナー「日本語能力試験 N3 合格のための語彙指導 - 『新完全マスター語彙日本語能力試験 N3』を使って -」(TKP仙台カンファレンスセンター 2018. 9. 29)
3. 京都市国際交流協会, 京都国際文化協会主催セミナー KICAセミナー (京都市国際交流会館 2019. 2. 16)

【所属学会】

日本語教育学会, 留学生教育学会, 日本文体論学会, 早稲田大学日本語学会

■岡 智之

【所属部門】 日本理解教育部門

【研究分野】 言語学(場の言語学、認知言語学、対照言語学)、日本語文法

【研究活動】

① 論文

1. 「ゼミのない大学でのヒューマンライブラリーの作り方」坪井健・横田雅弘・工藤和宏編 著『ヒューマンライブラリー：多様性を育む「人を貸し出す図書館」の実践と研究』2018年2月、年明石書店、コラム1, pp40-41
2. 「日本語と朝鮮語のナルの表現と事態把握—ナルの表現のスキーマ設定に向けて—」『日本認知言語学会論文集第18巻』pp604-609, 2018年5月
3. 「多文化共修科目4年目の振り返り—文化理解の変容に着目して—」『東京学芸大学紀要総合教育科学系Ⅱ 第70集』pp185-214, 2019年2月

② 口頭発表

1. 「クルド語のナル表現と事態把握」日本認知言語学会第19回大会、静岡大学浜松キャンパス、2018年9月

③ ポスター発表

1. 「国際交流合宿でのヒューマンライブラリー」日本ヒューマンライブラリー学会第2回大会、明治大学、2018年10月

【教育活動】

留学生センター開講科目

(春学期) 「日本語2文法A1」, 「日本語4会話A」

(秋学期) 「日本語5会話B」

学部開講科目

(春学期) 「多文化共修科目A(異文化理解とコミュニケーション)」

(秋学期) 「多文化共修科目B(多文化社会とコミュニケーション)」,

「日本語教育演習」

大学院開設科目

(春学期) 「言語学特論A」 (秋学期) 「言語学特論B」

ゼミ等

(春学期) 修論ゼミ (秋学期) 修論ゼミ

修士論文主査2名、副査7名

【その他の活動】

① 学内

1. ロヒンギャ難民集住地・群馬県館林市訪問 2018年6月24日(日)、(平成30年度実験・実習等経費)、報告書あり
2. 教員免許状更新講習講師、「場でわかる日本語」2018年8月7日(火)
3. 第3回東京学芸大学ヒューマンライブラリー「本」(ヒト)と出会う、世界と出会う」実行委員会代表, 2018年12月16日, (平成30年度地域連携事業費獲得) 報告書あり
4. 介護等体験部会部会員

5. 選挙管理委員会委員

② 学外

1. 「場の言語・コミュニケーション研究会」事務局長
2. 日本ヒューマンライブラリー学会理事（2017.5～）
3. 産業日本語研究会・招待講演「場でわかる日本語」、東京大学本郷キャンパス、2018年12月26日
4. 「多文化社会コーディネーター協働実践研修」受講、2018年8月18日、19日、10月27日、2019年2月23日、実践研究論文提出

【所属学会】

日本認知言語学会，日本語教育学会，異文化間教育学会，国立大学留学生指導研究協議会，日本ヒューマンライブラリー学会

■小西 円

【所属部門】 日本語教育部門

【研究分野】 日本語教育学、日本語学

【研究活動】

①著書 [分担執筆]

1. 小西 円 (2018) 「第13章 感動詞の教材化」岩田一成編『現場に役立つ日本語教育研究6 語から始まる教材作り』くろしお出版, pp.183-198, 2018.10

②論文

1. 小西 円 (2018) 「日本語学習者の習熟度別に見たフィラーの分析」『国立国語研究所論集』第15号, 国立国語研究所, pp.91-105

③口頭発表

1. 小西 円 (2018) 「コーパスを用いた類義表現研究」公開シンポジウム「コーパスを使った類義表現・多義語の研究」, 日本女子大学, 2018.12.22

【教育活動】

1. 留学生センター開設科目
(春学期) 「日研生特別演習」
(秋学期) 「日本語3会話B」「日研生特別演習」
2. 学部開設科目
(春学期) 「日本語教育概論」「日本語教育基礎研究」
(秋学期) 「日本語教育教材開発論」
3. 大学院開設科目
(春学期) 「多言語多文化教育学特論」
(秋学期) 「多言語多文化教育研究法」

論文指導

卒業論文 (副査): 7人, 修士論文 (副査): 3人

【その他の活動】

①学内

1. 大学院サブコース代表
2. 教育実習実施部会委員

②学外

2. 科学研究費補助金 若手研究「テキストの特徴からみた日本語教育のための類義表現研究」
(研究代表者)
3. 科学研究費補助金 基盤研究 (B)「話題が語彙・文法・談話ストラテジーに与える影響の解明」(研究分担者)
4. 第二言語習得研究会 ジャーナル委員会 査読委員
5. 産学連携プロジェクト「ことばと社会をアクティブに学ぶ素材開発プロジェクト」(株式会社ラーンズ・武蔵野大学・武蔵野美術大学・東京学芸大学) 構成メンバー
6. 「鶴見国際交流ラウンジ 日本語ボランティアのためのブラッシュアップ講座」講師

(2018.9.8)

7. 平成 30 年度 日本語・日本文化研修留学生問題に関する検討会議（大阪大学） 参加

(2018.11.16)

8. 都立国際高校国際交流デー 参加 (2019.1.12)

9. 都立淵江高校国際交流イベント 参加 (2019.2.18)

【所属学会】

日本語教育学会，日本語文法学会，社会言語科学会，ヨーロッパ日本語教師会

■許 夏玲

【所属部門】 日本語教育部門

【研究分野】 談話分析, 語用論, 対照言語研究

【研究活動】

① 論文

1. 「非外来語のカタカナ表記にみられる言語使用者の心的態度」『第 85 回言語・音声理解と対話処理研究会資料集』人工知能学会, pp.7-12
2. 「日本語学習者による自動詞・他動詞の選択について一人為的事態の場合の自動詞選択を中心にー」『東京学芸大学紀要 総合教育科学系 II』第 70 集, pp.215-220

② 口頭発表

「非外来語のカタカナ表記にみられる伝達の効果」第 12 回国際日本語教育・日本研究シンポジウム, 香港理工大学, 2018.12

【教育活動】

1. 留学生センター開設科目
(春学期) 「日本語 5 総合 A」, 「日本語 5 文法 A」
(秋学期) 「日本語 2 文法 B2」, 「日本語 3 作文 B1」, 「日本語 5 特別演習 B」
2. 学部開設科目 (春学期) 「日本語教育特論」
3. 大学院開設科目
(春学期) 「日本語研究特論 C」, 「日本語教育特別研究 I」, 「日本語教育特別研究 III」
(秋学期) 「日本語教育研究法 D」, 「日本語教育特別研究 II」, 「日本語教育特別研究 IV」
3. 修士論文副査 7 名, 研究指導 (修士論文 M1 生 3 名, 研究生 3 名, 日研究生 4 名)
4. 自主日本語ゼミ (春学期・秋学期) 月 2 回
5. 学芸カフェテリアランチ講座「海外の学校教育事情」(春学期週 1 回、計 8 回)
6. ゲストトーク「地域の日本語教室の現状と今後の課題」(講師 小金井生活日本語教室, 東小学校区放課後子ども教室ち Q 人) (7 月 6 日)
7. 講師研修会「ICT の活用による授業の工夫」(講師 和田正人氏 [本学]) (4 月 4 日)
8. TGU 日本語研究会「今、日本語学習者はどんな学習ツールを使っているのかー教師の教育支援リテラシーの向上と学習支援について考える」(講師 鈴木智美氏 [東京外国語大学]・清水由貴子氏 [聖心女子大学]) (2 月 21 日)
9. 小金井祭研究室企画「留学生から見たおもしろい日本語の研究」(11 月 3 日)

【その他の活動】

① 学内

1. 親好会委員
2. 留学プログラム実施部会委員
3. キャンパスライフ相談委員

② 学外

1. 第 12 回国際日本語教育・日本研究シンポジウム (香港理工大学)・分科会進行役 2018.12
2. 第 6 回小金井市主催外国人スピーチコンテスト・審査員 2018.7

【所属学会】 日本語教育学会, 社会言語科学会, 香港日本語教育研究会

■谷部弘子

【所属部門】 日本語教育部門

【研究分野】 日本語教育, 日本語学

【研究活動】

①論文

1. 島田めぐみ・保坂敏子・澁川晶・孫媛・谷部弘子 (2019) 「日本語聴解テスト予備試験結果の分析—認知診断テストの開発を目指して—」『東アジア日本語教育・日本文化研究』第21号, 東アジア日本語教育・日本文化研究学会, 1-18, 2019.3

②口頭発表等

1. [ポスターセッション] 高橋美奈子・本田明子・谷部弘子 (2018) 「日本語学習者にみられる日本語のジェンダー規範意識—相手言語接触場面と第三者言語接触場面の談話分析から—」ヴェネツィア 2018 年日本語教育国際研究大会 (Venezia ICJLE 2018), イタリア・ヴェネツィア, Ca' Foscari University of Venice, 2018.8.4
2. [ポスターセッション] 島田めぐみ・谷部弘子・孫媛・保坂敏子・澁川晶 (2018) 「真正性の高い日本語聴解テストの開発」ヴェネツィア 2018 年日本語教育国際研究大会 (Venezia ICJLE 2018), イタリア・ヴェネツィア, Ca' Foscari University of Venice, 2018.8.4
3. 島田めぐみ・保坂敏子・澁川晶・孫媛・谷部弘子 (2018) 「日本語聴解テスト予備試験の分析結果—認知診断テストの開発を目指して—」東アジア日本語教育・日本文化研究学会 2018 年度国際学術大会, 中国・大連, 大連大学, 2018.8.25
4. 谷部弘子 (2018) 「短期留学生にみる確認要求表現のバリエーションの獲得」東アジア日本語教育・日本文化研究学会 2018年度国際学術大会, 中国・大連, 大連大学, 2018.8.25

③その他

1. [シンポジウム] 谷部弘子 (2018) 「職場編・研究成果報告—日本語教育への応用」『現日研・職場談話コーパス』公開記念シンポジウム: 談話資料の構築における1990年代の先駆的な試みから現在の新たな試みへ (主催: 国語研共同研究プロジェクト「大規模日常会話コーパスに基づく話し言葉の多角的な研究」), 国立国語研究所, 2018.9.3
2. [ポスターセッション] 島田めぐみ・谷部弘子・孫媛 (2018) 「日本語認知診断テストの開発例と課題」JOPT (Japanese Oral Proficiency Test) 新しい船出, 東京外国語大学, 2018.10.28
3. [シンポジウム&ワークショップ・コメンテーター] 「从‘教’和‘学’的角度讨论课堂教学中如何处理日语语法知识 [总结 1]」第五届高校日语课堂教学国际学术研讨会暨日语语法教学工作坊 (主催: 北京師範大学日本語教学研究所), 中国・北京師範大学, 2018.11.3-4

【教育活動】

留学生センター開設科目

(春学期) 「日本語 1・2 特別演習 A (プロジェクト)」(「学芸フロンティア科目 F」との合同授業)

(秋学期) 「日本語 1 総合B」, 「日本語 2 漢字B」

学部開設科目

(春学期) 「学芸フロンティア科目F」, 「日本語教育概説」

大学院開設科目

(春学期) 「多言語多文化教育研究法」

(秋学期) 「多言語多文化教育学特論」

論文指導

修士論文 (主査): 2名 (副査): 2名

【その他の活動】

①学内

1. 協定校コーディネーター (インドネシア・インドネシア教育大学) (アメリカ合衆国・ハワイ大学ヒロ校)
2. 大学院生対象公開講座開催: 曹大峰氏 (北京外国語大学・北京日本学研究中心教授) 「日本語研究と日本語教科書」 2018.6.11

②学外

1. 科学研究費 基盤研究 (C) 「日本語学習者談話の有効性に関する研究」 (2016年度~2018年度) (研究分担者) (研究代表者: 高橋美奈子)
2. 科学研究費 基盤研究 (B) 「日本語文法認知診断テストの開発」 (2017年度~2020年度) (研究分担者) (研究代表者: 島田めぐみ)
3. 日本語教育学会 表彰委員会委員

【所属学会】

日本語教育学会, 海外日本語教育研究学会, 日本語学会, 社会言語科学会, ヨーロッパ日本語教師会 (AJE), 東アジア日本語教育・日本文化学会

資料 1 日本語科目（日本語 1～5）一覧（*印は学部開設科目）

2018 年度春学期

科目名	担当教員	曜日・時限
日本語 1 総合 A	桂千佳子	月 3
*日本語 1 作文 A1 [日本語表現法 C・ライティング I]	北澤尚	木 1
日本語 1 作文 A2	小池恵己子	木 3
日本語 1 講読 A	布施悠子	金 3
*日本語 1 会話 A1 (日本語表現法 A・口頭コミュニケーション I)	南浦涼介	月 1
日本語 1 文法 A	岩崎拓也	火 2
日本語 1 聴解 A	林亜友美	金 4
日本語 1 漢字 A	横山和子	月 4
*日本語 1 日本語特別演習 A (ビジネス日本語) [専門日本語・ビジネス I]	福島恵美子	木 4
*日本語 1 日本語特別演習 A (日本語表現法 E・プレゼンテーション I)	斎藤ひろみ	木 1
日本語 1 日本語特別演習 A (ドラマで学ぶ日本語)	宮本典以子	水 2
日本語 1 日本語特別演習 A (小説で学ぶ日本語)	鈴木美恵子	金 1
日本語 1・2 日本語特別演習 A (プロジェクト)	谷部弘子	火 3
日本語 2 総合 A	横山和子	月 3
日本語 2 作文 A1	福島恵美子	木 3
日本語 2 作文 A2	林亜友美	金 5
日本語 2 講読 A1	桂千佳子	月 2
日本語 2 講読 A2	新谷あゆり	金 3
日本語 2 会話 A1	小池恵己子	木 4
日本語 2 会話 A2	鈴木美恵子	金 2
日本語 2 文法 A1	伊能裕晃	火 2
日本語 2 文法 A2	岡智之	水 2
日本語 2 漢字 A	笹目実	月 4
日本語 2 聴解 A	桂千佳子	金 4
日本語 2 日本語特別演習 A (音声表現)	石崎晶子	木 2
日本語 2 日本語特別演習 A (マンガで学ぶ日本語)	宮本典以子	水 1
日本語 3 総合 A1	鈴木美恵子	木 1
日本語 3 総合 A2	鈴木美恵子	木 2
日本語 3 作文 A	石崎晶子	木 3

日本語 3 講読 A	桂千佳子	金 3
日本語 3 会話 A	布施悠子	金 2
日本語 3 漢字 A	伊能裕晃	水 2
日本語 3 文法 A	岩崎拓也	火 1
日本語 3 聴解 A	新谷あゆり	金 4
日本語 4 総合 A	今井美登里	火 1
日本語 4 総合 A	今井美登里東泉 裕子	火 1・2 木 1・2
日本語 4 会話 A	岡智之	月 1
日本語 4 作文 A	横山和子	月 2
日本語 4 講読 A	笹目実	水 2
日本語 5 総合 A	許夏玲 飯野清士	月 1・2 金 1・2
日本語 5 作文 A	坂田睦美	火 2
日本語 5 漢字 A	坂田睦美 宮本典以子	火 1 木 1
日本語 5 会話 A	宮本典以子	木 2
日本語 5 読解 A	李貞暎	水 1
日本語 5 聴解 A	李貞暎	水 2

2018 年度秋学期

科目名	担当教員	曜日・時限
日本語 1 総合 B	谷部弘子	月 4
日本語 1 作文 B1	桂千佳子	月 2
*日本語 1 作文 B2 [日本語表現法 D・ライティングⅡ]	北澤尚	木 1
日本語 1 講読 B1	横山和子	月 3
日本語 1 講読 B2	新谷あゆり	金 4
*日本語 1 会話 B1 (日本語表現法 B・口頭コミュニケーションⅡ)	齋藤ひろみ	月 1
日本語 1 会話 B2	鈴木美恵子	金 2
*日本語 1 会話 B3 (日本語表現法 F・プレゼンテーションⅡ)	南浦涼介	火 1
日本語 1 文法 B	小池恵己子	木 3
日本語 1 聴解 B	林亜友美	金 3

日本語 1 漢字 B	岩崎拓也	火 2
*日本語 1 特別演習 B (ビジネス日本語)	福島恵美子	木 4
日本語 1 日本語特別演習 B (ドラマで学ぶ日本語)	宮本典以子	水 2
日本語 2 総合 B	横山和子	月 4
日本語 2 作文 B1	李貞暎	月 2
日本語 2 作文 B2	荒巻朋子	木 4
日本語 2 講読 B1	桂千佳子	木 5
日本語 2 講読 B2	林亜友美	金 4
日本語 2 会話 B1	岩崎拓也	火 1
日本語 2 会話 B2	布施悠子	金 2
日本語 2 文法 B1	福島恵美子	木 3
日本語 2 文法 B2	許夏玲	金 1
日本語 2 聴解 B	桂千佳子	金 3
日本語 2 漢字 B	谷部弘子	火 2
日本語 2 日本語特別演習 B (マンガで学ぶ日本語)	宮本典以子	水 1
日本語 2 日本語特別演習 B (ビジネス日本語)	笹目実	水 2
日本語 2 日本語特別演習 B (音声表現)	石崎晶子	木 2
日本語 3 総合 B1	伊能裕晃	木 1
日本語 3 総合 B2	伊能裕晃	木 2
日本語 3 作文 B1	許夏玲	月 2
日本語 3 作文 B2	鈴木美恵子	金 1
日本語 3 講読 B	桂千佳子	金 4
日本語 3 会話 B	小西円	金 2
日本語 3 文法 B	荒巻朋子	木 3
日本語 3 聴解 B	新谷あゆり	金 3
日本語 3 漢字 B	伊能裕晃	火 2
日本語 3 日本語特別演習 B (プロジェクト)	小池 己子	木 4

資料2 日本理解科目一覧

2018 年度春学期

科目名	担当教員
日本理解 A (教育)	李 紅実
日本理解 C (人文)	有澤 知乃
日本理解 E (人文)	高崎 恵
日本理解 G (自然)	澤田 康徳
多文化共修科目 A 「異文化理解とコミュニケーション」	岡 智之
多文化共修科目 C 「世界の言語と文化」	伊能 裕晃

2018 年度秋学期

科目名	担当教員
日本理解 B (教育)	遠座 知恵
日本理解 D (人文)	千田 洋幸
日本理解 F (社会)	加藤 拓
日本理解 H (芸術)	石井 健
多文化共修科目 B 「多文化社会とコミュニケーション」	岡 智之
多文化共修科目 D 「世界の民族と文化」	有澤 知乃

資料3 短期留学プログラム (ISEP) 科目一覧

2018 年度春学期

	科目名	担当教員
1	ISEP Seminar II	有澤 知乃 (留学生センター)
2	Educational System and School Reform in Japan	末松 裕基 (学校教育教室)
3	Cross-Cultural Ideas and Activities	戸田 孝子 (国際教育教室)
4	Counseling in Japan	佐野 秀樹 (カウンセリング教室)
5	Cultural Social Psychology of the Japanese	杉森 新吉 (学校心理学教室) David Wong (客員准教授)
6	Introduction to Psychophysiology	池田 一成 (学校心理学教室)
7	Cross-Cultural Representations and Practice	Joshua P. Dale (英語科教室)
8	Traditional Performing Arts of Japan	有澤 知乃 (留学生センター)
9	Exploring the Cultural Diversity of Japan (I)	有澤 知乃 (留学生センター)
10	Theatre Workshop	高尾 隆 (表現コミュニケーション教室)
11	Japanese Martial Arts: Judo	久保田 浩史 (生涯スポーツ教室)
12	Recreation and Sports in Japan: Cycling	渡辺 雅之 (保健体育科教室)
13	Recreation and Sports in Japan: Aquatic Sports (Swimming)	森山 進一郎 (保健体育科教室)

2017 年度秋学期

	科目名	担当教員
1	ISEP Seminar I	有澤 知乃 (留学生センター)
2	Cross-Cultural Teaching Practice	戸田 孝子 (国際教育教室)
3	Cultural Social Psychology of the Japanese	杉森 新吉 (心理学教室)
4	Critical Issues in Contemporary Japanese Society	オムニバス (人文社会科学系ほか)
5	“Japan Cool” Abroad: Analysis and Fandom	Joshua P. Dale (英語科教室)
6	Exploring the Cultural Diversity of Japan (II)	有澤 知乃 (留学生センター)
7	Traditional Performing Arts of Japan	有澤 知乃 (留学生センター)
8	Natural Science in Japan	藤本 幸一郎 (自然環境科学教室)
9	Traditional Metal Carving	古瀬 政弘 (美術科教室)
10	Recreation and Sports in Japan I: Table Tennis	渡辺 雅之 (保健体育科教室)
11	Japanese Business Enterprises	原田 和雄 (自然環境科学教室)
12	Recreation and Sports in Japan II: Skiing	新海 宏成 (保健体育科教室)

資料4 主な行事の写真

春のお散歩（国分寺 お鷹の道）



国際交流合宿（清里）



カフェ講座七夕パーティ



カフェ講座もちパーティ



大相撲トーナメント観戦



附属小金井小学校との交流



資料 5

各プログラム概要

■日本語日本文化研修プログラム概要 (2016.10～)

1 研修内容

以下の6分野に分かれています。

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| (1) 日本語科目 | (2) 日本理解科目 | (3) 日研生特別演習 |
| (4) 専門研究 | (5) 個人研究 | (6) 文化交流 |

(1) 日本語科目

各学期のはじめにプレースメントテストがあります。留学生対象の日本語科目を受講したい人はかならず受けてください。

留学生対象の日本語科目は「選択科目」です。日本語力が十分にある人は、専門研究を通して日本語力を高めることもできます。

(2) 日本理解科目

留学生対象の日本理解に関する科目として、「日本理解」8科目（秋学期：B, D, F, H、春学期：A, C, E, G）、「多文化共修科目」4科目（秋学期：B, D、春学期：A, C）があります。これらの科目は「選択必修科目」です。この中から最低2科目を選んで受講してください。

(3) 日研生特別演習

日研生のための「日研生特別演習Ⅰ」（秋学期）・「日研生特別演習Ⅱ」（春学期）があります。これは「必修科目」です。かならず出席してください。

(4) 専門研究

自分の研究テーマや興味・関心、日本語力を考えて、指導教員とよく相談し、必要な科目を選択してください。留学生対象科目以外に学部の開設科目も受講できます。

(5) 個人研究

研修修了までに、レポートにまとめて提出します。テーマについては、指導教員とよく相談してください。「日研生特別演習Ⅱ」の時間帯で、レポートの内容について発表してもらいます。

(6) 文化交流（学生交流、地域交流、見学旅行ほか）

大学の企画のほかに、民間団体や自治体主催のホームステイ・プログラムや小中学校の国際理解プログラム、地域の行事などがあります。大学に案内がきた場合は、国際課の掲示板に掲示しますので、各自で申し込んでください。

2 修了証書と修了要件

1年間の研修を終え、その成果を指導教員が認めたものについては、本学学長名において修了証書を授与します。修了のためには、つぎの4点が必要です。

- a. 上記(2)を2科目以上履修すること

- b. 上記(3)の2科目を履修すること
- c. 上記(1)～(4)まで合わせて14科目以上履修すること
- d. 上記(5)のレポートを期限までに提出すること

*毎学期、7科目以上履修しなければなりません。

8月の時点で以上4点が確認できないと、プログラム修了と認められません。

■ISEP プログラム概要

ISEP (International Student Exchange Program)では留学生向けに幅広いトピックの授業を英語で開講しています。また、教室で行われる通常の授業の他に、音楽、美術、運動のクラスや、フィールドスタディーのクラスもあります。ISEP生はその他に、ISEPセミナーに出席し、各自で決めた研究テーマの理解を深めるため、指導教員の指導のもと、調査を行いレポートにまとめます。

・授業

以下の6分野にわかれています。

1. ISEP 科目

授業は英語で行われます。全ての留学生が履修することができます。

2. ISEP セミナー

秋学期、春学期共に開講され、必修科目です。

3. 個人研究

ISEP生は全員、個人研究に取り組みます。秋学期の終わりに研究計画書、春学期の終わりには最終レポートを提出する必要があります(秋学期のみの参加者は秋学期の終わりまでに最終レポートを提出します)。レポート提出後は指導教員とISEP教員等の前で発表をします。

4. 日本語科目

ISEP生はそれぞれのレベルに合わせた日本語の授業を取ることができます。レベルは5(初級)から1(上級)まであり、プレースメントテストの結果によって履修するレベルが決まります。

5. 日本理解科目

日本語能力の高い留学生は、留学生向けに日本語で行われる「日本理解科目」を受講することもできます。また、留学生と日本語を母語とする学生が共に同じ教室で学ぶことのできる「多文化共修科目」を履修することもできます。

6. その他の授業

日本語能力の高いISEP生は東京学芸大学で開講されている一般学生向けの授業を履修することもできます。全ての講義は日本語で行われるため、留学生の語学力によって履修できるかどうかが決まります。

ISEP 生は 1 学期に 12 単位以上の授業を履修しなければなりません。そのうち 7 単位は ISEP 科目である必要があります。

- ISEP 科目 = 1 または 2 単位
- 個人研究 = 1 学期につき 1 単位
- 日本語科目 = 1 授業につき 1 単位
- 日本理解科目 = 2 単位
- 学部生向けのその他の授業 = 1 または 2 単位

■教員研修プログラム

1. プログラムの目的

教員研修留学生プログラムは、本国で教育ないし教育行政にたずさわる人が日本の大学の教員養成学部において 18 か月間の研修を行い、その成果を帰国後に本国で生かしてもらおうというものである。

研修留学生の専門の研究はそれぞれ所属の研究室にておこなうが、日本語の運用能力を身につけずに来日した場合は、初めの 1 学期間、留学生センターの日本語コースにて 1 週間 14 コマ×15 週間の集中コースを受講する。

2. 研修内容

2-1 専門教育

指導教員の指導のもとで、研修生の希望、個人研究のテーマ、日本語能力などを考慮して履修科目を決定する。

2-2 個人研究

本人の希望する研究テーマについて、指導教員の指導の下で研究し、研修終了時までその成果をレポートにまとめ、提出する。これは報告書として刊行される。

2-3 見学実習

附属学校・教育行政機関・施設などの参観、地域の文化活動への参加、日本人学生との交流、見学実習などを必要に応じて実施する。

2-4 日本理解科目

下記の 2 科目以上を履修しなければならない。

- ① 年度ごとに指定する科目の中から 1 科目以上。
- ② 「日本理解科目 A～H (春学期 ACEG、秋学期 BDFH)」、「多文化共修科目 A～D (春学期 AC、秋学期 BD)」、「短期留学プログラム (ISEP) 科目」のすべての科目の中から 1 科目以上を履修する。(①+②で 2 科目以上)

科目とその概要については各学期のはじめに案内する。日本理解科目の一覧表は留学生センターのホームページに掲載されている。

2-5 特別演習 Special Seminar

最初の秋学期のみ数回特別演習が行われる。

2-6 日本語科目 Japanese-Language Courses

日本語科目はプログラムの必修科目ではないが、履修を希望する者はかならずプレースメントテストを受け、その結果にしたがって指示されるクラスで受講する。

2-7 修了証書 Certificate of Completion

所定の研修を終え、その成果を指導教員が認めた者については、本学学長の名において修了証書を授与する。